

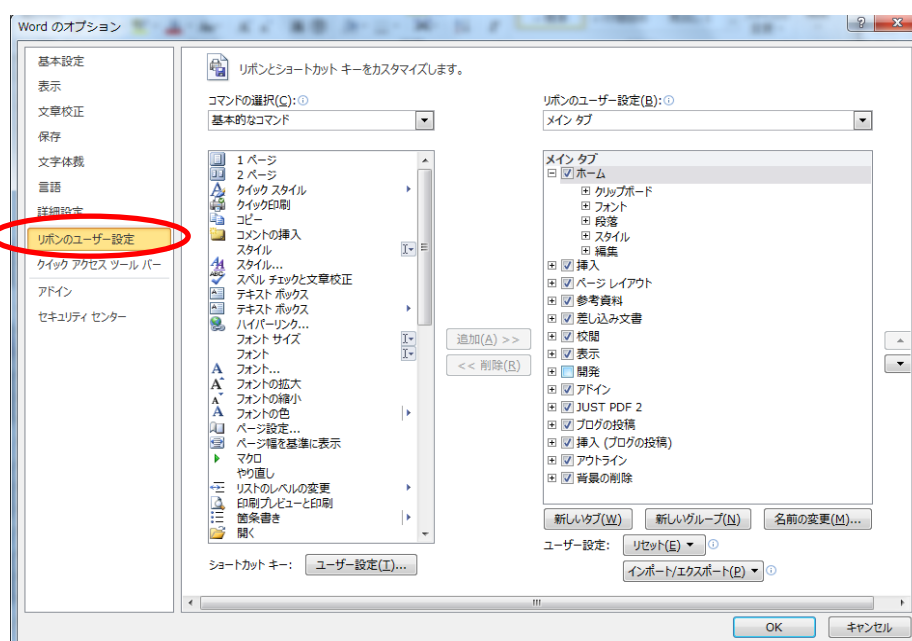
Word マクロの導入方法等

I	Word マクロの導入方法（１）マクロデータを含む Word ファイルから	...	1
II	Word マクロの導入方法（２）「*.bas」データのインポート	...	5
III	Word マクロの削除方法	...	7
IV	Word マクロの実行方法	...	9

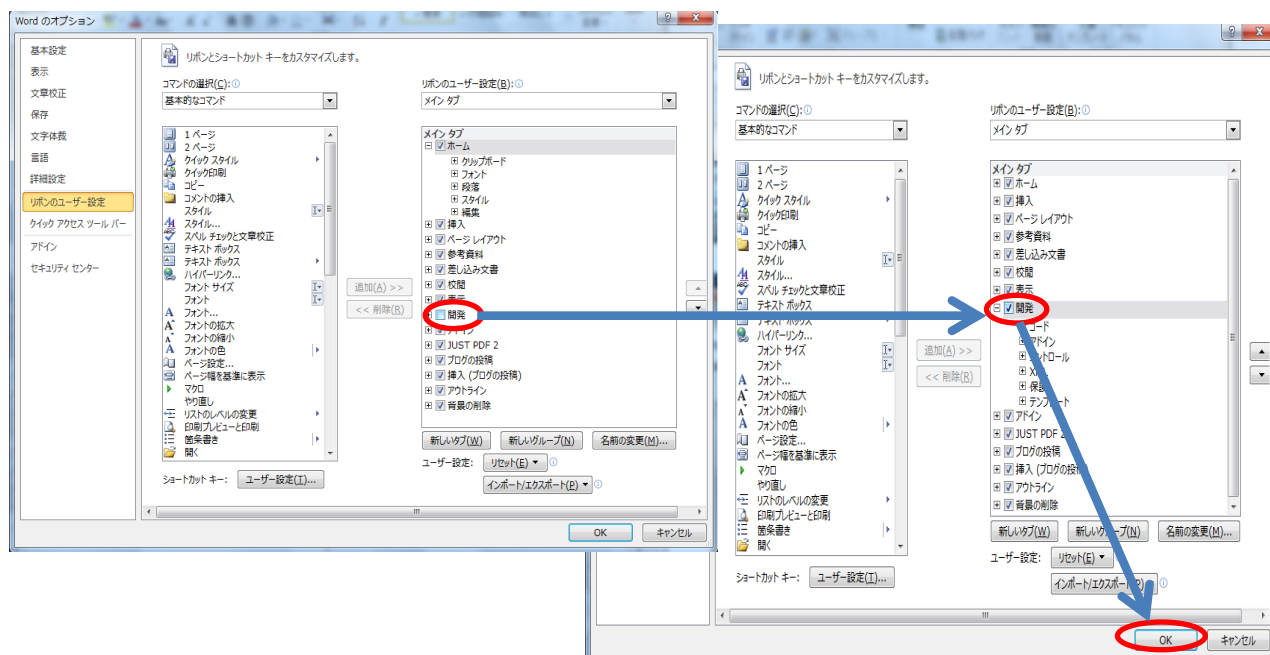
I Word マクロの導入方法（１）マクロデータを含む Word ファイルから

1 Word を開く。

「ファイル」→「オプション」→「リボンのユーザー設定」を選択。

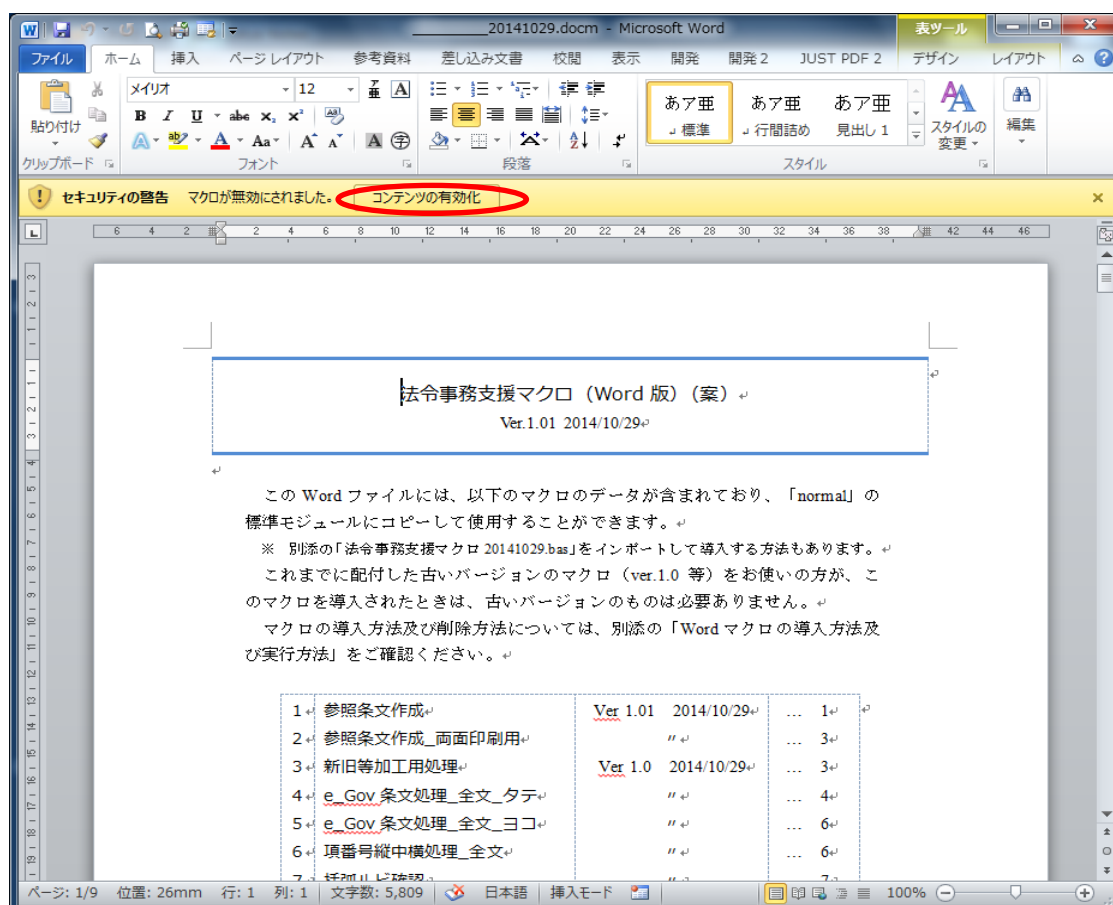


2 「開発」にチェックを入れ、「OK」を選択する。

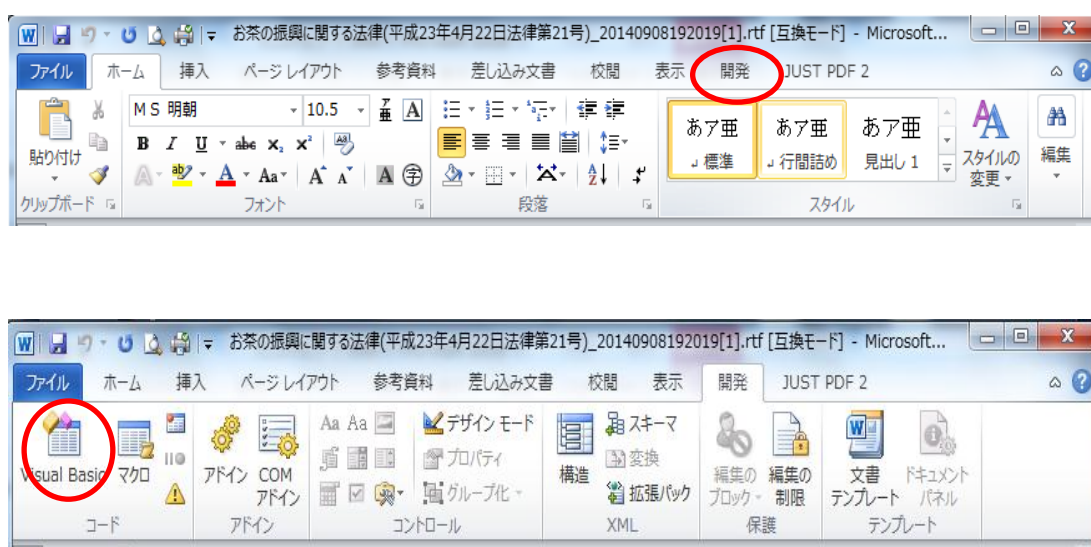


3 マクロデータを含む Word ファイルを開く。

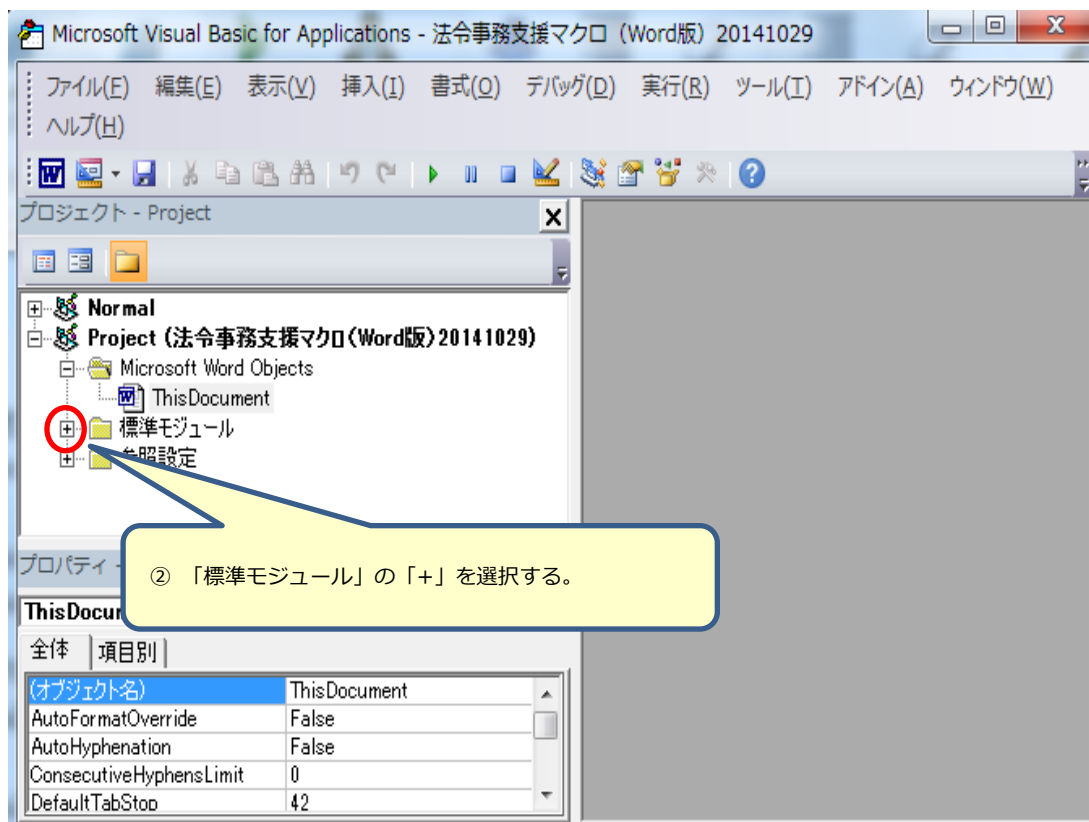
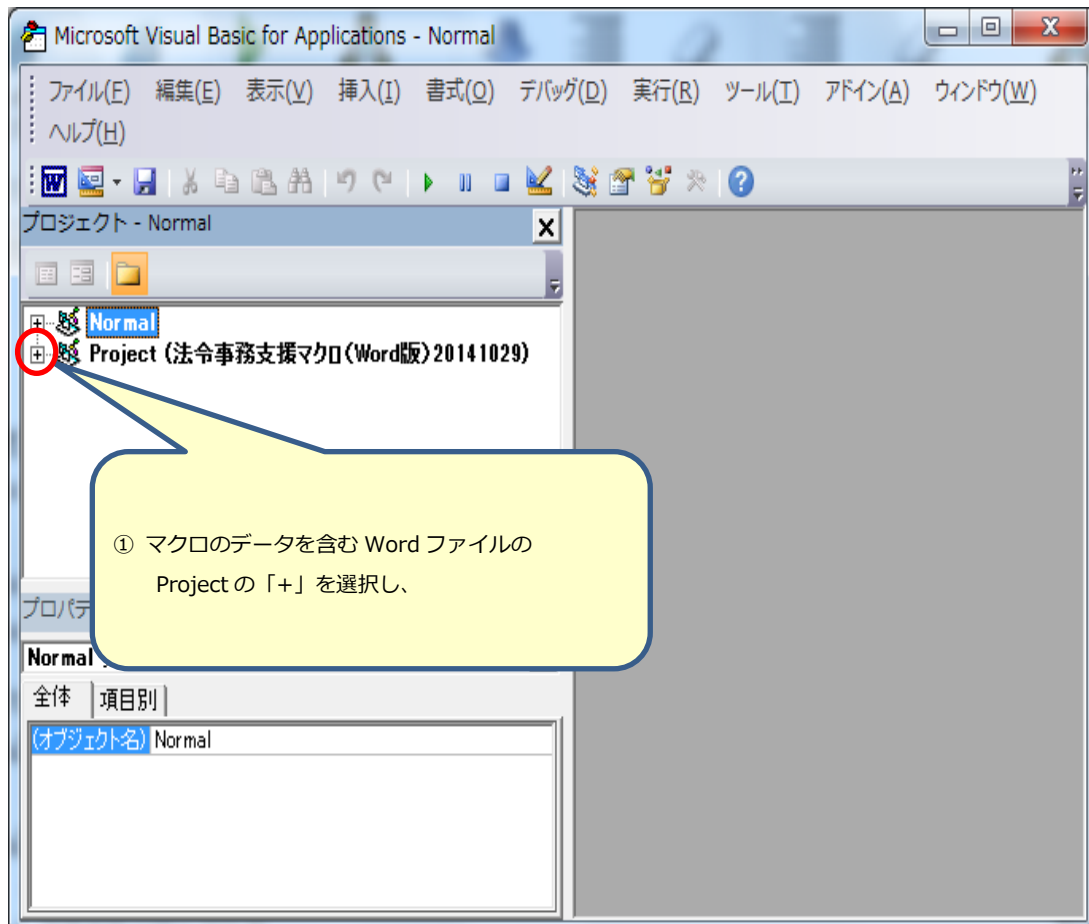
以下の様に、セキュリティの警告が表示されたら、「コンテンツの有効化」を選択する。



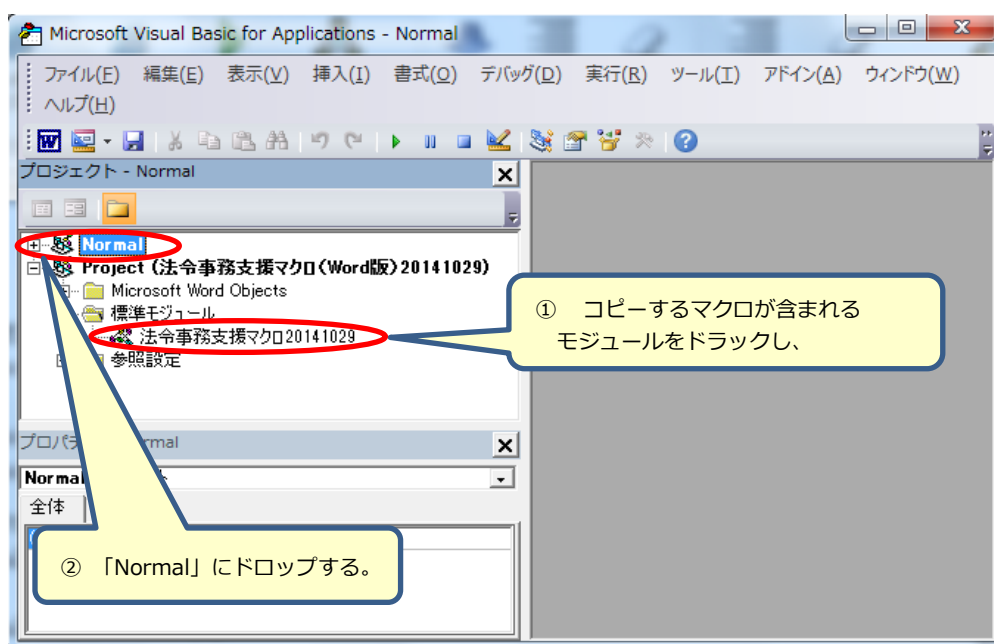
4 Word 上部のリボン中から「開発」→「Visual Basic」を選択する。



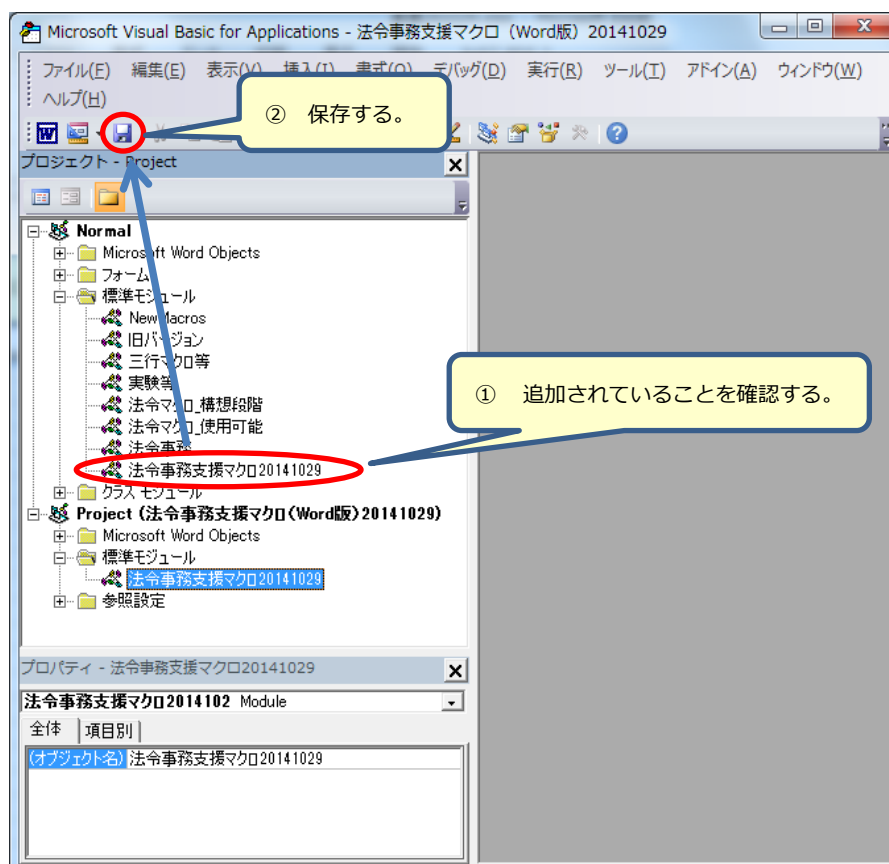
- 5 「Microsoft Visual Basic for Applications」が開かれたら、以下の手順により、「**Project**」中のマクロが含まれる部分のデータ（モジュール）を表示させる。



- 6 「Project」中に導入するマクロが含まれるモジュールが確認できたら、以下の手順で、**「Normal」**にコピーする。



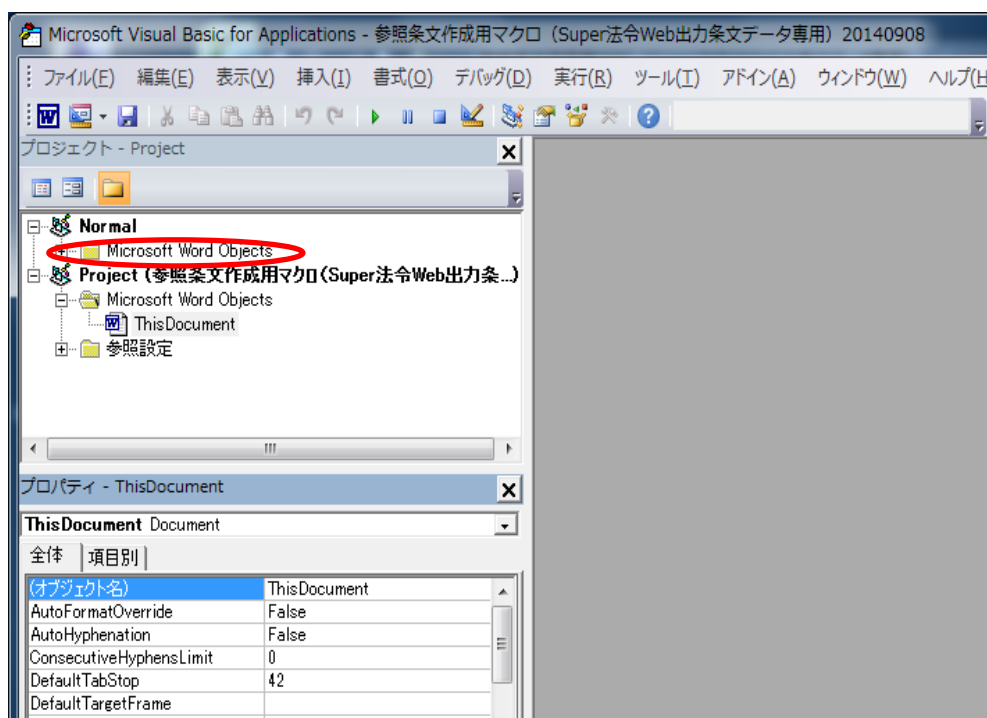
- 7 Normal の「標準モジュール」に導入するマクロ（法令事務支援マクロ 20141029）が追加されていることを確認し、保存（FDのマークを選択）する。



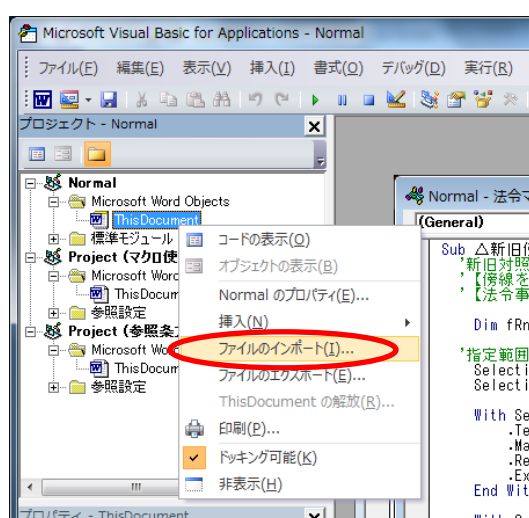
- 8 「Microsoft Visual Basic for Applications」を閉じる。以上で設定完了です。
当方がお配りした古いバージョンのもの（「法令マクロ_使用可」等）をお使いの方は、閉じる前に、「Ⅲ Word マクロの削除方法」の手順により、古いバージョンのものを削除されることをお勧めします。

Ⅱ Word マクロの導入方法（２）「*.bas」データのインポート

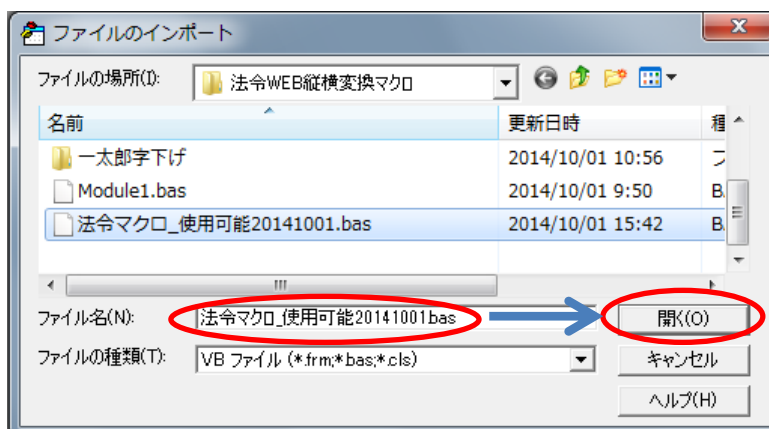
- 1 「Ⅰ Word マクロの導入方法（１）」の１から４まで要領で「Microsoft Visual Basic for Applications」を起動する。
- 2 「Microsoft Visual Basic for Applications」を開いたら、画面左上にある「**Normal**」の「Microsoft Word Objects」のフォルダを**右クリックする**。
※ 対象のフォルダが表示されていない場合は、「Normal」の右側の「+」を選択する。



- 3 「ファイルのインポート」を選択。

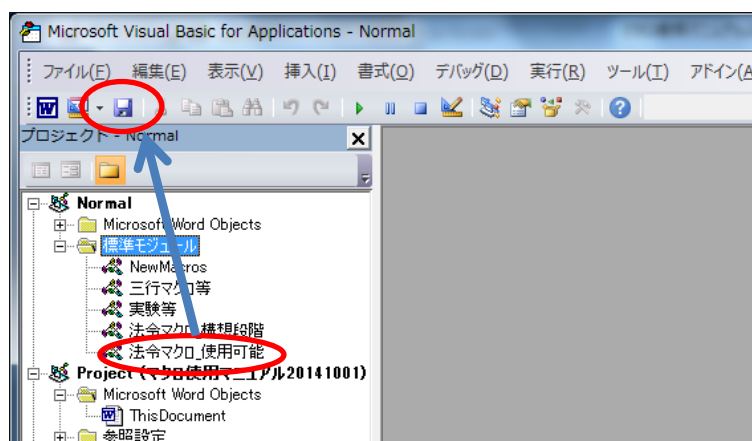


- 4 インポートするマクロの bas 形式のファイル（法令事務支援マクロ 20141029.bas）を選択し、「開く」を選択する。※画像は以前のバージョンのものとなっております。



- 5 Normal の「標準モジュール」に導入するマクロ（法令事務支援マクロ 20141029）が追加されていることを確認し、保存（FD のマークを選択）する。

※画像は以前のバージョンのものとなっております。



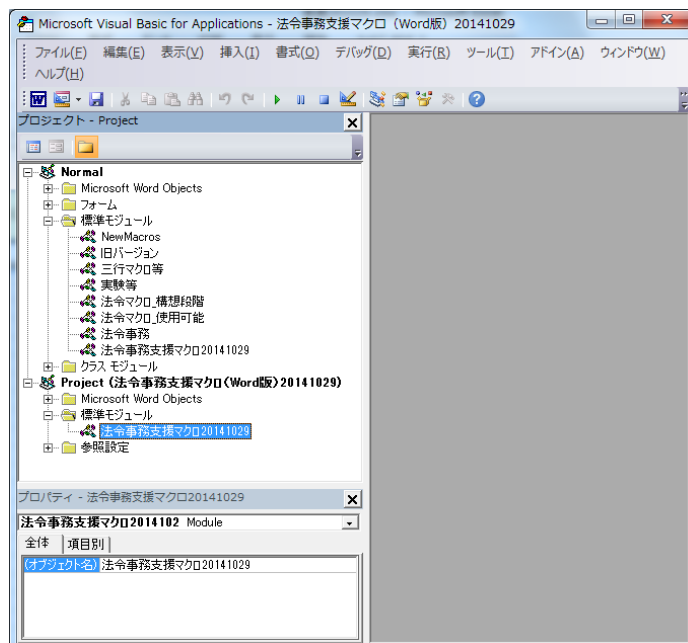
- 6 「Microsoft Visual Basic for Applications」を閉じる。以上で設定完了です。

当方がお配りした古いバージョンのもの（「法令マクロ_使用可」等）をお使いの方は、閉じる前に、「Ⅲ Word マクロの削除方法」の手順により、古いバージョンのものを削除されることをお勧めします。

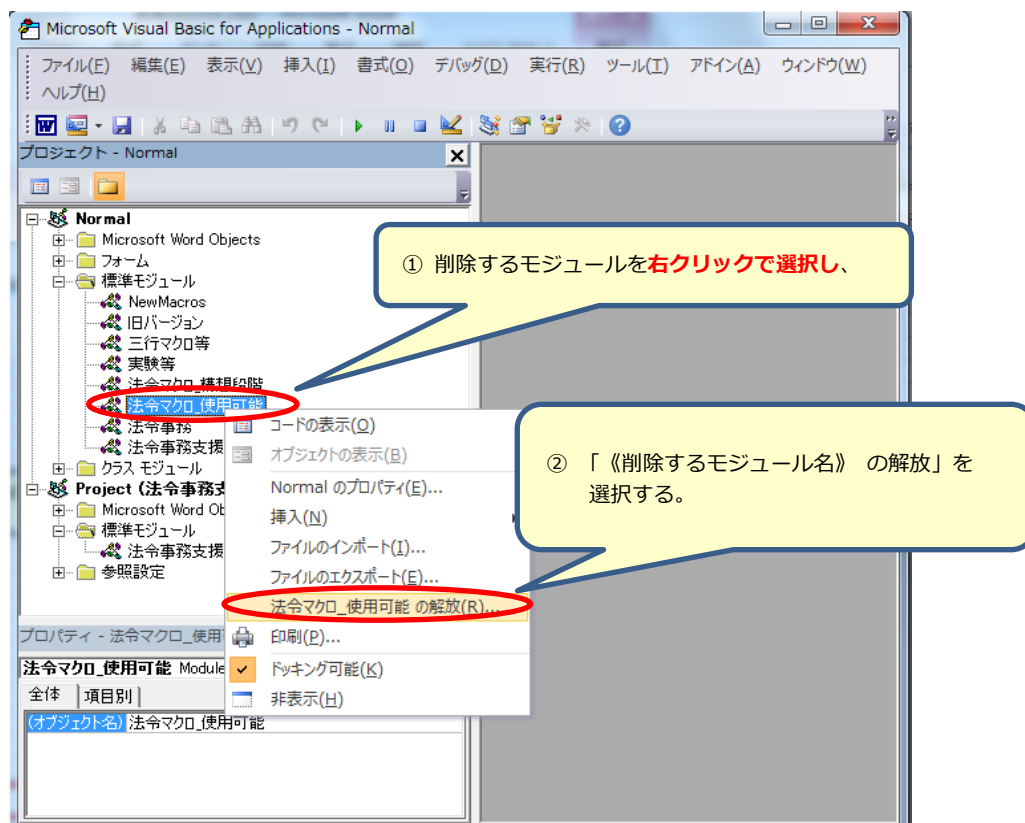
Ⅲ Word マクロの削除方法

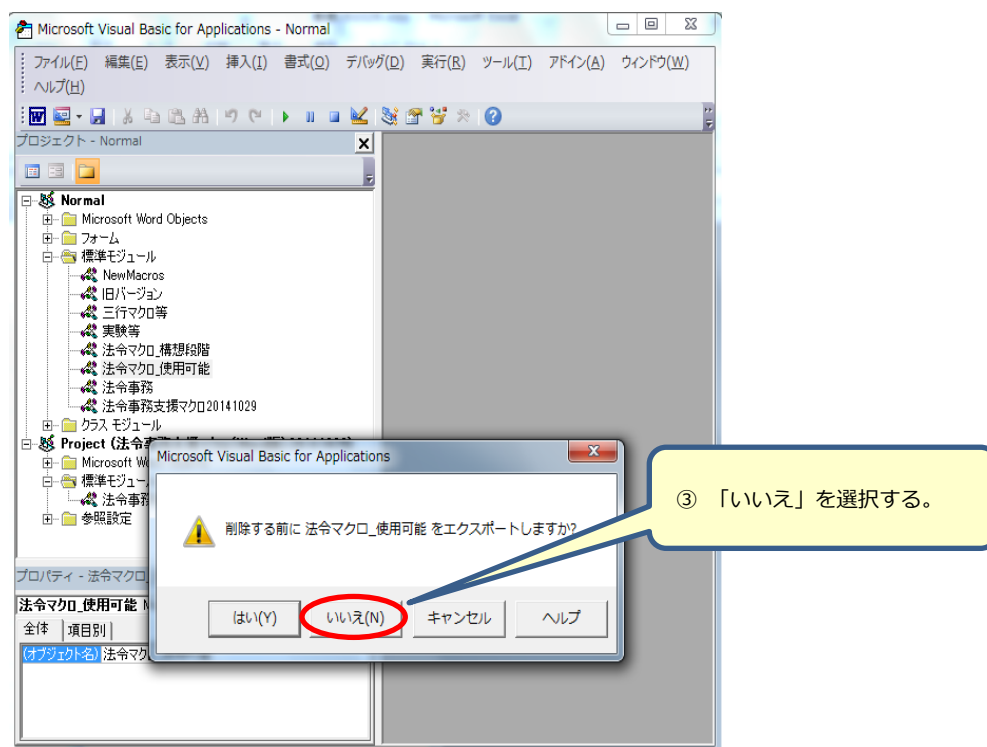
「Ⅰ Word マクロの導入方法（１）」の 7 及び「Ⅱ Word マクロの導入方法（２）」の 5 の場面から、2 以降の手順に移ることができます。

- 1 「Microsoft Visual Basic for Applications」を起動し、「**Normal**」の標準モジュールを表示させる。

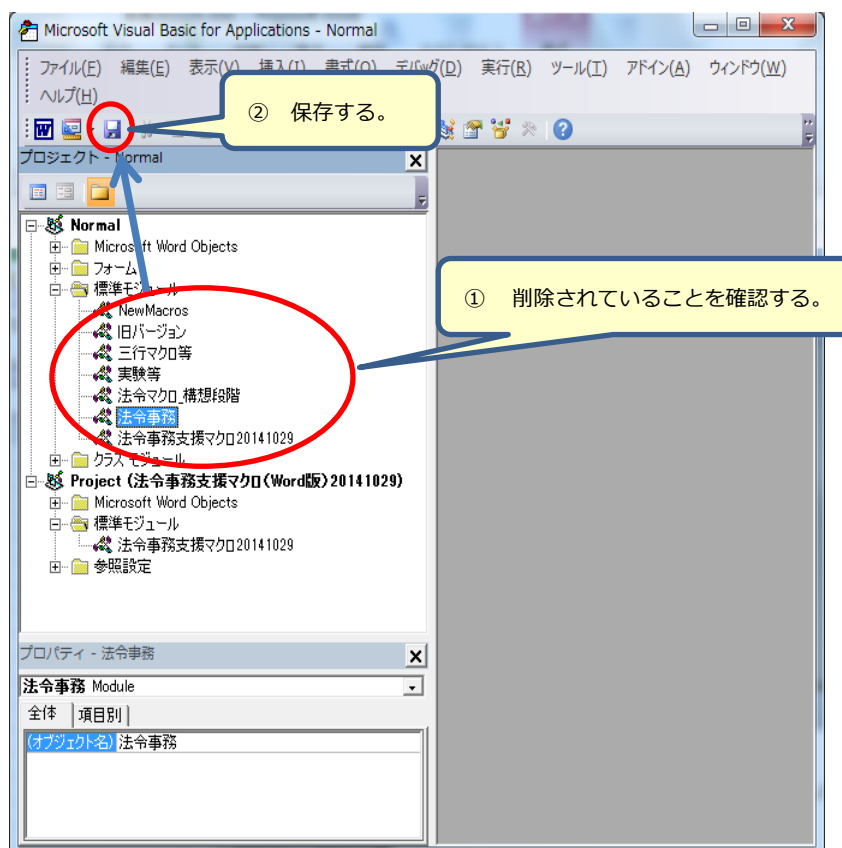


- 2 以下の手順で、削除するマクロを含むモジュールを解放（削除）する。





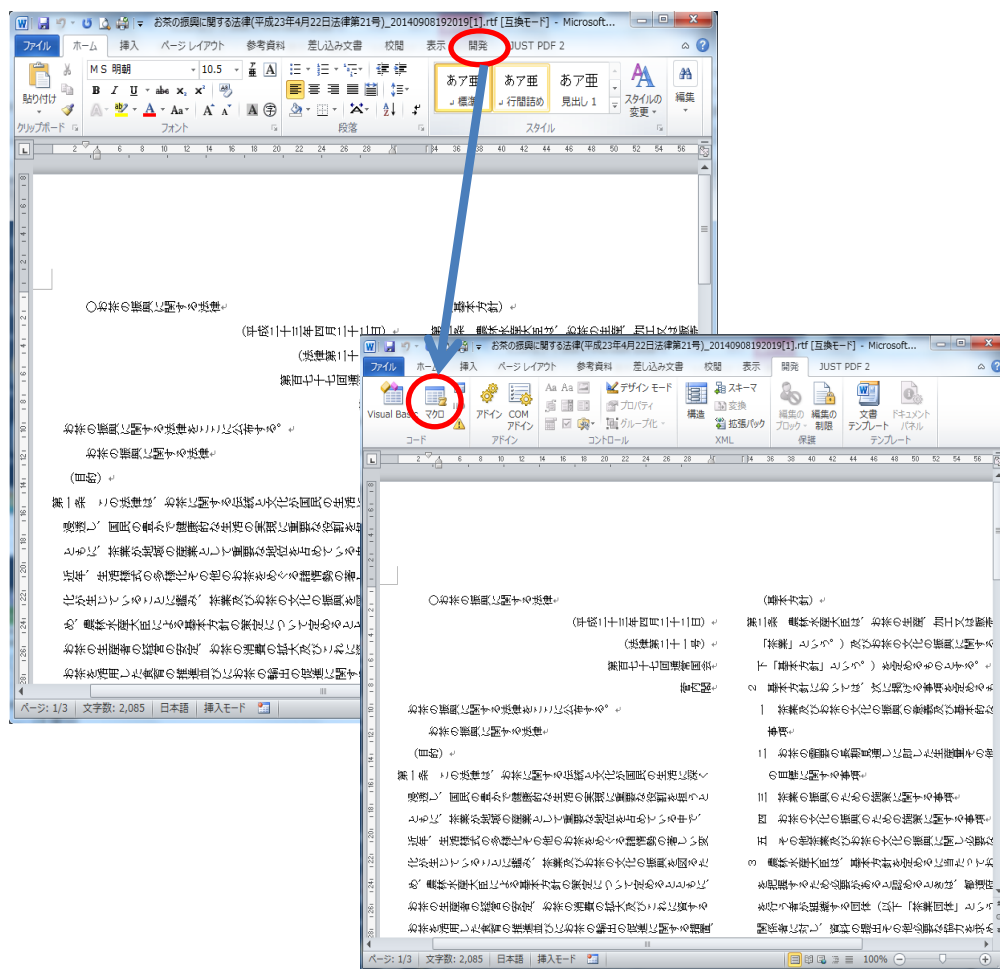
- 3 削除したいマクロが解放（削除）されたことを確認し、保存（FD のマークを選択）する。



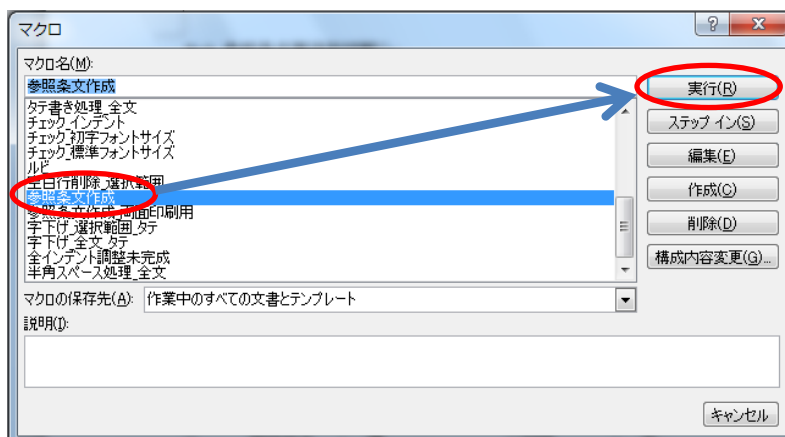
- 4 「Microsoft Visual Basic for Applications」を閉じる。以上で削除完了です。

Ⅲ Word マクロの実行方法

1 「開発」→「マクロ」を選択する。



2 実行したいマクロを選択し、「実行」ボタンを押す。



※ 使用頻度が高いようであれば、マクロをリボンに登録しておくとう便利です。

